

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【公表番号】特表 2005-535808(P2005-535808A)

【公表日】平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)

【年通号数】公開・登録公報 2005-046

【出願番号】特願 2004-528969(P2004-528969)

【国際特許分類】

E 0 5 D 15/26 (2006.01)

E 0 5 D 15/06 (2006.01)

E 0 5 D 15/10 (2006.01)

【F I】

E 0 5 D 15/26

E 0 5 D 15/06 1 1 8

E 0 5 D 15/06 1 2 4 A

E 0 5 D 15/10

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

建物もしくは同様の構造物の、又は建物もしくは同様の構造物における開口部の閉鎖組立体であって、前記閉鎖組立体は、少なくともほぼ鉛直の相互回動軸を使って、閉鎖状態と開放状態との間を移動可能であるように、取り付けられた少なくとも二つの相互に回動する（ガラス板の嵌め込まれた又はそうではない）パネルを含み：

（i）前記閉鎖状態では、相互に少なくともほぼ整列している前記少なくとも二つのパネルが、開口部の平面内で又は開口部の平面にほぼ平行に前記開口部の少なくとも部分的な閉鎖体を提供し、及び、

（i i）前記開放状態では、前記少なくとも二つのパネルが、互いの方に相互に回動することによって相互に整列を崩されて、開口部の平面を実質的に空け、またその際少なくとも二つのパネルの各々の一方又は全てが開口部の平面に対して鋭角に又は平行に横たわる、閉鎖組立体において、

前記パネルの一方（“近位パネル”）が、前記開口部の鉛直周縁（“近位周縁”）で及び／又は前記鉛直周縁の近くで、開口部の平面内に実質的に在る少なくともほぼ鉛直な回動軸によって回動され、

他方のパネル（“遠位パネル”）の遠位領域が、少なくとも一つの支持ランナーによって支持され、

支持ランナーが支持軌道に沿って走行し、前記支持軌道が、前記開口部の平面に対して少なくとも部分的に斜めにされ、又は角度を付けられるか若しくはある角度に方向転換するか、又は曲げられるか若しくは湾曲され（以後“斜めにされ”）、また支持ランナーを前記近位周縁で又は前記近位周縁の近くで前記開口部の平面から離間させる効力を有する、閉鎖組立体。

【請求項 2】

近位パネルが、前記開口部に対して固定されたほぼ鉛直の回動軸によって回動される、

請求項 1 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 3】

前記近位パネルが、開口部の平面に対して及び開口部の平面内で水平に移動可能なほぼ鉛直な回動軸によって回動される、請求項 1 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 4】

前記支持ランナーが、支持軌道に係合された車輪付きボギー車を含む、請求項 1 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 5】

前記車輪付きボギー車が鉛直軸線を中心にして前記遠位パネルに対して回動することを可能にするために、前記支持ランナーが鉛直回動軸を含む、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 6】

前記車輪付きボギー車の前記回動軸の前記鉛直軸線が、前記遠位パネルの板厚の中央に配置される、請求項 5 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 7】

支持軌道が、ほぼ直線的な形であり、また開口部の平面に対して鋭角をなす、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 8】

支持軌道が、少なくとも一部が直線的な形であり、また前記一部が開口部の平面に対して鋭角をなす、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 9】

支持軌道が、直線的な形であり、及び近位周縁に直近の支持軌道の部分を除いて開口部の平面に対して（好適には開口部の平面内で）平行であり、前記部分において支持ランナーを開口部の平面から外に進ませるために、前記軌道が前記開口部の平面に対して角度が付けられている、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 10】

支持軌道が湾曲している、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 11】

遠位パネルの遠位領域が、遠位パネルの頂部又は底部の一方（である“鉛直支持場所”）に取り付けられた一つの支持ランナーによって支持される、請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 12】

前記鉛直支持場所に対する、前記頂部又は底部の他方が、開口部の平面内の又は該平面に平行なガイド軌道を通るガイドランナーと結合され、そのようなガイドランナーは、それにもかかわらずガイドランナーと遠位パネルとの伸展性結合によって、支持軌道を通じて案内される支持ランナーによって開口部に対して案内されて回動されるように遠位パネルの遠位領域が移動することを可能にする軌跡を形成された支持軌道に追従して遠位パネルのための移動を可能にする、請求項 11 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 13】

前記鉛直支持場所に対する、頂部又は底部の他方が、開口部の平面内の又は開口部の平面に平行なガイド軌道を通るガイドランナーと結合され、そのようなガイドランナーは遠位パネルに回動可能に取り付けられた伸展性アームを含み、前記伸展性アームは、遠位パネルの遠位領域が前記支持軌道によって拘束されて移動することを可能にすることが要求される軌跡を形成された支持軌道に追従することを可能にする、請求項 11 又は 12 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 14】

ガイドランナーが、回動状態で伸展する関節手段を、（遠位領域において又は遠位領域の近くで）遠位パネルの間に含み、前記関節手段が、ガイド軌道に配置されて案内されるランナーボギー車を介して前記ガイド軌道にさらに回動可能に結び付けられて、そのことにより前記伸展性結合を提供する、請求項 12 又は 13 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 15】

前記関節手段が剛性アームである、請求項 14 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 16】

前記パネルが前記開放状態のとき、前記剛性アームが、前記開口部の前記平面に垂直に延びる、請求項 15 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 17】

支持ランナーが遠位パネルの頂部に設けられる、請求項 1 ～ 16 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 18】

ガイドランナーが遠位パネルの底部に配置される、請求項 12 ～ 17 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 19】

ガイドランナーが遠位パネルの頂部に設けられて、支持ランナーが遠位パネルの底部に配置される、請求項 12 ～ 17 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 20】

遠位パネルの遠位領域が、頂部及び底部に配置された支持ランナーによって支持され、各支持ランナーが、開口部の頂部および底部に配設されたそれぞれの前記支持軌道内を走行する、請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 21】

近位パネルが、近位周縁における固定された鉛直回転軸によって回転される、請求項 1 ～ 20 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 22】

前記パネルが、開放位置において、開口部の平面にほぼ平行に横たわる、請求項 1 ～ 21 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 23】

閉鎖組立体が全体に枠を付けられる、請求項 1 ～ 22 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 24】

前記閉鎖組立体の周縁が、前記建物若しくは同様の構造物の、又は前記建物若しくは同様の構造物における前記開口部に受容されるのに釣り合ったサイズの枠構造物によって形成される、請求項 1 ～ 22 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 25】

前記閉鎖組立体の周縁が、前記建物若しくは同様の構造物の、又は前記建物若しくは同様の構造物における前記開口部に受容されるのに釣り合ったサイズの枠構造物によって形成され、前記枠が、頂部枠押出材と、前記頂部枠押出材に平行な底部枠押出材であって使用時に水平に延在する底部押出材と、前記頂部及び底部枠押出材に取り付けられかつ前記頂部及び底部枠押出材の間に延在する二つの側方枠押出材であって、互いに平行な、使用時に垂直に延在する二つの側方枠押出材とを含む、請求項 1 ～ 22 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 26】

前記枠が、少なくとも部分的に押出材の組立体である、請求項 23 ～ 25 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 27】

前記支持ランナーが、前記遠位パネルの頂部又は上部に取り付けられた頂部ランナーであり、また前記建物の又は前記建物における前記開口部が、上部枠組み材を含み、前記支持軌道が上部組立体に組み込まれ、前記上部組立体が、

a) 縦方向に延在する基礎部材であって、その縦方向を前記開口部の平面に平行にして前記開口部の上部枠組み材に固定される、縦方向に延在する基礎部材と、

b) 支持軌道を保持するサブ組立体であって、さらに、

(i) 前記開口部の底への又は前記開口部の底からの直線的様態、及び、

(i i) 前記開口部の平面に対して平行な水平軸線を中心にした前記軌道の傾きを可能にする様態、の一つ以上から選択された様態で前記支持軌道を変位させることを可能にする様態で前記基礎部材に固定されたサブ組立体と、を含むものである、請求項 1 ~ 26 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 28】

前記支持ランナーが、前記遠位パネルの頂部又は上部に取り付けられた頂部ランナーであり、また前記頂部枠部材が上部組立体であり、前記上部組立体が、

a) 縦方向に延在する基礎部材であって、その縦方向を前記開口部の平面に平行にした様態で建物に固定される縦方向に延在する基礎部材と、

b) 支持軌道を保持するサブ組立体であって、さらに、

(i) 基礎部材への又は前記基礎部材からの直線的様態、及び、

(i i) 前記開口部の平面に対して平行な水平軸線を中心にした前記軌道の傾きを可能にする様態、の一つ以上から選択された様態で前記支持軌道を変位させることを可能にする様態で前記基礎部材に固定されたサブ組立体と、を含むものである、請求項 25 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 29】

前記基礎部材が前記側方枠部材に固定される、請求項 28 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 30】

前記サブ組立体が、二列に並んだ、鉛直に延在する調節ねじによって前記基礎部材に係合され、第一の列と第二の列が互いに対して及び開口部の平面に対して平行であり、また一方の列の他方の列に対するねじの差動調節が前記傾きを含み、第一の列と第二の列のねじの一致する調節が直線的変位を含む、請求項 28 又は 29 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 31】

前記サブ組立体がベルメットを含み、前記ベルメットに前記軌道が、固定され、また支持ランナーとの係合のために露出された様態でベルメットから配設される、請求項 28 又は 30 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 32】

前記ベルメットが、その下から前記支持軌道を与えて、支持ランナーの開きが開放状態を引き受けることを可能にするのに十分なほどに開口部の平面から外側に延びる、請求項 31 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 33】

前記ベルメットが、細長いほぼ一定断面の押出部材である、請求項 31 又は 32 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 34】

前記ベルメットが、前記支持軌道の両側に飾りパネルを含み、前記飾りパネルが前記支持軌道と前記ベルメットの縦方向の縁との間の隙間を塞ぐ、請求項 33 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 35】

前記第一の列の固定ねじが、前記開口部の前記平面の第一の側に平行に及び前記第一の側に設けられ、また第二の列が、前記開口部の前記平面の他方の側に平行に及び前記他方の側に設けられる、請求項 30 ~ 34 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 36】

各列の前記ねじが均等に離間されている、請求項 30 ~ 35 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 37】

ロックピンが前記構造体に固定されて設けられ、前記パネルがその閉鎖状態にあるとき及び閉鎖状態に近いとき外方へ移動しないようそれを捕捉するために、前記ロックピンが、前記遠位パネルの遠位領域に係合するように前記遠位パネルの外側に向いた表面に対して位置決めされる、請求項 1 ~ 36 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 38】

ロックピンが前記枠に固定されて設けられ、前記パネルがその閉鎖状態にあるとき及び閉鎖状態に近いとき、前記遠位領域を前記枠の押付け部分に対して捕捉することにより前記遠位領域が外方へ移動するのを防ぐために、前記ロックピンが、前記遠位パネルの遠位領域に係合するように前記遠位パネルの外側に向いた表面に対して位置決めされる、請求項 25 ~ 37 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 39】

前記遠位パネルがその頂部又は底部で前記支持ランナーによって支持され、また前記頂部又は底部の他方において前記遠位パネルの遠位領域が外側に向いた表面を含み、またロックピンが前記枠構造体に固定されて設けられ、前記パネルがその閉鎖状態にあるとき及び閉鎖状態に近いとき前記遠位領域を前記枠の押付け部分に対して捕捉することにより前記遠位領域の外方への移動を防ぐために、前記ロックピンは、前記遠位パネルの外側に向いた表面に係合するように位置決めされる、請求項 25 ~ 37 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 40】

前記外側に向いた表面が前記遠位パネルの外側表面に隠されている、請求項 38 又は 39 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 41】

第一の相互求引性手段が、開放状態のとき遠位パネルに面する近位パネルの側面上の、前記近位パネルの近位周縁配設領域に提供され、また遠位パネルには、近位パネルに開放状態のときに面する遠位パネルの側面上の、前記第一の相互求引性手段の場所に対応する場所に第二の相互求引性手段が設けられて、前記パネルが開放状態のとき前記相互求引性手段の相互作用が、前記近位パネルの近位周縁配設領域に前記遠位パネルの前記遠位領域に係合されて留まる状態を助長する、請求項 1 ~ 40 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。

【請求項 42】

前記第一及び第二の相互求引性手段が磁氣的求引性手段である、請求項 41 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 43】

前記第一及び第二の相互求引性手段が両方とも磁石である、請求項 41 または 42 に記載の閉鎖組立体。

【請求項 44】

前記第一及び第二の相互求引性手段が前記パネルの底部の近くに位置決めされる、請求項 41 ~ 43 のいずれか一項に記載の閉鎖組立体。